

1. 『町内会のイベントとあわせて防災訓練を実施』

～平馬場自主防災会～

■ 実施団体

○平馬場自主防災会（中山町）

設立年度：H26年9月

世帯数：72世帯

■ 活動内容（H27年4月実施）

- ① 防災クイズ
- ② 消火訓練



■ 地域の特性

- ・ 県道210号線（小山田谷山線）付近に位置する閑静な住宅街。
- ・ 東側に永田川がある。



★ 会長インタビュー ★

Q1

防災活動を実施するにあたり、どの機関の協力をもらいましたか。

会長

防災クイズの出題依頼を鹿児島市役所安心安全課の地域安心安全推進指導員に、消火訓練の依頼を南消防署谷山北分遣隊にしました。

Q2

今回の活動で工夫したことはなんですか。

会長

今回の目標としては、少しでも多くの住民に防災のことを知ってもらい、興味をもってもらうことでした。

そのため、町内会の運動会のなかに『防災クイズ』と『消火訓練』を行う時間を設けて、子供も大人も楽しんで防災を学べるように心がけました。

Q3

『防災クイズ』とはどのような活動ですか。

会長

『防災クイズ』は、「Q. 避難するとき雨靴を履いたほうが良い。○か×か?」「A. ×（雨靴は水が入れば脱げやすく危険。紐で縛るタイプの運動靴が良い）」などといった防災に関する○×クイズを何問か出題して、参加者に答えてもらうものです。勝ち抜き戦にして、最後まで勝ち残った10名くらいには景品として保存食を配りました。保存食は、市の活動助成金を活用しました。

簡単な問題から難しめの問題まで出して、景品も準備したので、皆さん盛り上がって参加していました。



▲ 防災クイズ



▲ 消火訓練

Q4

最後に、今回の活動を振り返っていかがだったでしょうか。

会長

平馬場地域は、永田川が整備され、最近では大きな洪水被害などは起こっていませんが、私の若いころは、川の氾濫や道路の冠水などが頻繁に起こっていました。そのため、最近よく耳にするゲリラ豪雨などが降れば、洪水などがいつ起きてもおかしくないと思います。

今回の活動は、災害を知らない子供たちにも防災に興味を持ってもらう良い機会になりました。次回の町内会のイベントとしては6月灯がありますが、今後もいろいろなイベントを通して地域のまとまりを強くしたいと思っています。

2. 「避難行動要支援者に配慮した避難訓練」

～西陵東町内会自主防災会～

■ 実施団体

○西陵東町内会自主防災会（西陵2丁目）
 設立年度：H3年6月
 世帯数：1,107世帯

■ 活動内容（H27年6月実施）

- ① 避難訓練 ② 119番通報訓練
- ③ 消火訓練 ④ 救急救命訓練



■ 地域の特徴

鹿児島市の西部、新川の中流域の丘陵地上に位置している。一部、土砂災害警戒区域に指定されている。



★ 会長インタビュー ★

Q1

今回の訓練では、どのような災害を想定されたのですか。

会長

大きな地震が起こり、町内のあちこちで火災が発生したことを想定し、避難訓練などを行いました。

Q2

避難訓練は、どのような手順で行ったのですか。

会長

西陵東町内会自主防災会では、日頃から、高齢者など避難の手助けが必要な住民をリストアップしています。

会長判断で、避難の実施を決めたときは、各区の副区長や班長が、リストを見ながら避難の呼びかけや誘導を行い、あらかじめ設定している近くの一時避難場所（公園など）に避難します。

その後、区単位で人数やけが人の状況などの把握を行い、安全を確認しながら指定避難所である西陵小学校に移動するという流れです。

その間、区長を通じて、会長に各区の被害状況などを伝える情報伝達も実施しました。

Q3

今回の活動を振り返っていかがだったでしょうか。

会長

消火訓練と救急救命訓練は田上分遣隊に、炊き出し訓練は日本赤十字鹿児島支部の協力をもらって実施しましたが、実際に消火器を扱ったり、炊き出し訓練で作ったおにぎりをみんなに振る舞ったりすることで、住民の皆さんは興味を持ちながら訓練に参加できたと思います。

私としては、分遣隊が紹介してくれた「上着を利用して担架を作る方法」や「三角巾やハンカチで止血する方法」など、身近にあるものを使って救急活動できるのだということが分かり、興味深く思いました。



三角巾で腕を固定する方法を教えてくださいました！

Q4

次の活動では、どのようなことをされたいですか。

会長

次回は、出前トークなどを利用して防災に関する研修会を開きたいと考えています。

また、町内には、消防のOBや防災推進員など防災に詳しい住民もいるので、地域一丸となって今後も防災活動にあたりたいと思います。

Q2


地域の地図をどのようにして準備したのですか？

会長

地元の印刷業者に頼んで、町内会の地図をA1サイズで5枚作ってもらいました。厚手で耐久性のある紙を使っているのので、一度作ってしまえば、何年も使うことができます。

作成費用は、市の活動助成金（上限2万円）を活用しました。



 作成した地図にビニールシートをかぶせて、災害の危険区域や避難場所などを書き込みます。

Q3

今後、どのような活動をしていこうと考えていますか。

会長

今回の防災マップ作りは、防災会（町内会）の役員を中心に参加してもらいました。役員は、毎年改選があるので、毎年防災マップの作成や更新作業をすれば、少しずつ町内の危険な場所や避難場所などを知る人が多くなると期待しています。

今後、防災マップを活用したまち歩きや、訓練などもしていきたいと思います。

耳より情報

※鹿児島市では、地域安心安全推進指導員を配置しております。訓練の手順や補助金の申請方法が分からない場合は、地域を訪問して防災会のお手伝いをします。

※鹿児島県の出前講座を申請すると、無料で県防災アドバイザーを派遣してもらうことができます。防災マップの作成のお手伝いなどもしてもらえますので、ぜひご活用ください。（申請は市町村経由です）

〇詳しくは、鹿児島市危機管理課（216-1213）までお問い合わせください。

